

ナレシュ・アガワル 国際会長

ナレシュ・アガワル（インド・パンジャブ州バタラ）は、2017年6月30日から7月4日にかけて米国イリノイ州シカゴで開催された第100回国際大会で、ライオンズクラブ国際協会の会長に選出された。

アガワル会長は金属及び農産物を専門とする企業の会長。

1974年以来のバタラ・スマイル・ライオンズクラブの終身会員であり、クラブ会長や地区ガバナーなどの役職を立派に務め上げた。1989～90年度には、321複合地区のガバナー協議会議長も務めた。

1998年から2000年にかけて、国際理事に就任。グローバル会員増強チームのエリアリーダーとしての任期中には、大幅な会員増加を実現し、高い評価を受けた。3回の国際大会でDGEセミナーの講師及びグループリーダーを務めたほか、国際理事会アポインティ（3回）、グローバル指導力育成チームの会則地域リーダー（CA6）も経験している。

インド財団の理事及びライオンズクエスト副委員長であり、国の視力ファースト委員会でも委員を務めた。バタラで慈善事業を行うダイニク・プレーサナ・サバーの最高後援者であり、お年寄りの介護と福祉を行う慈善団体エイジケア・インディアの副会長である。その他多くの事業の理事や後援者を歴任している。

国際会長メダル（23回）と親善大使賞を受賞。

ライオンズクラブ国際財団の大ロリードギフト寄付者であり、人道支援パートナーでもある。

ライオンでありメルビン・ジョーンズ・フェローでもあるナヴィタ夫人とのあいだには、2人の息子と1人の娘、そして7人の孫がいる。アガワル会長の誕生日は、ライオンズクラブ国際協会の創設者メルビン・ジョーンズと同じである。